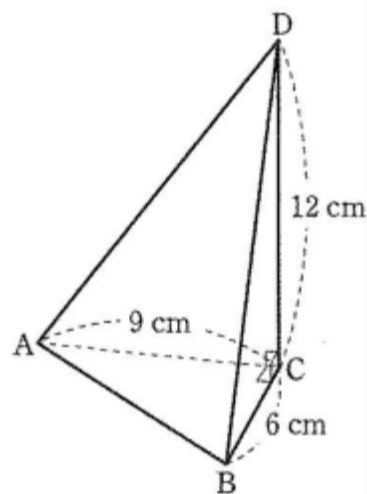


算数オンライン塾 11月12日の問題 —立体—

図のように、 $AC=9\text{cm}$ 、 $BC=6\text{cm}$ で、角 $ACB$ が直角である直角三角形を底面とする三角すい $D-ABC$ があります。

また、角 $DCA$ と角 $DCB$ はともに直角で、 $CD=12\text{cm}$ です。この三角すいを底面と平行な面で切っていきます。このとき、次の問いに答えなさい。



(1) 底面から  $2\text{cm}$  の高さで切ったとき、2つの立体の表面積の合計は、切る前の三角すいの表面積と比べて何  $\text{cm}^2$  増えますか。

(2)  $CD$  が6等分されるように切ったとき、すべての立体の表面積の合計は、切る前の三角すいの表面積と比べて何  $\text{cm}^2$  増えますか。

(式と考え方)

(1)		(2)	
-----	--	-----	--